

AEDの使用手順

傷病者が、「正常な呼吸」をしていない場合、心停止と判断しAEDを使用します。
 手順はAEDが音声ガイダンスで指示しますので、指示に従ってください。

⚠ 危険

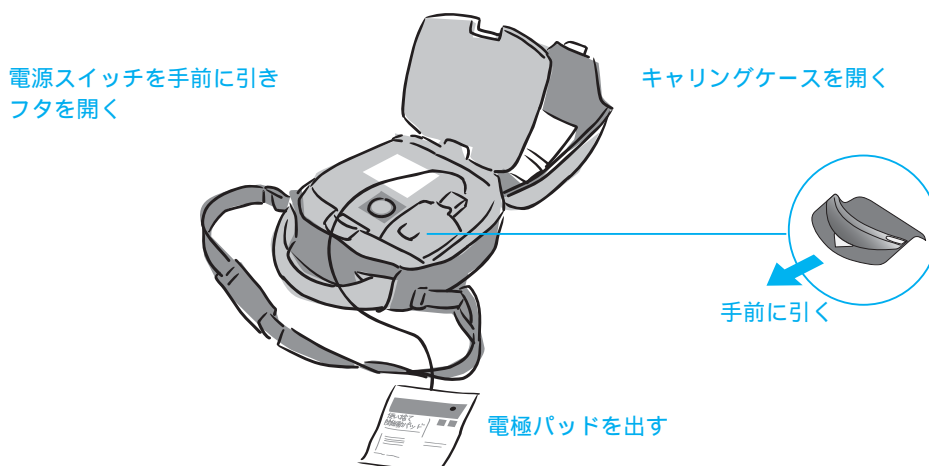
- ⊘ 可燃性ガスおよび高濃度酸素雰囲気内では、絶対に使用しない
 爆発、または火災の恐れがあります。傷病者を安全なところにすばやく移動し、AEDを使用してください。

⚠ 警告

- ! 傷病者が濡れた場所に横たわっている場合、乾いた場所に移動してからAEDを使用する
 電気ショックの際に、水を伝わって電気エネルギーが放出され、傷病者以外の人に電撃（体内に電気が流れたときに受ける衝撃）を受けることがあります。

1 AEDのフタを開け、モードを確認する

AEDの電源スイッチを手前に引き、フタを開いてください。
 成人・小児モード切替スイッチの状態により、AEDの音声ガイダンスや画面表示は異なります。



成人モード時

音声ガイダンス



成人モードです。
 意識・呼吸を確認してください。



小児モード時

音声ガイダンス



小児モードです。
 小学生以上に使用する場合は、成人にスイッチを切り換えてください。



AEDのリズム音について

AEDのフタを開けると、リズム音「ボンボンボン」が絶えず流れ続けます。これは胸骨圧迫(8)の際に使用します。

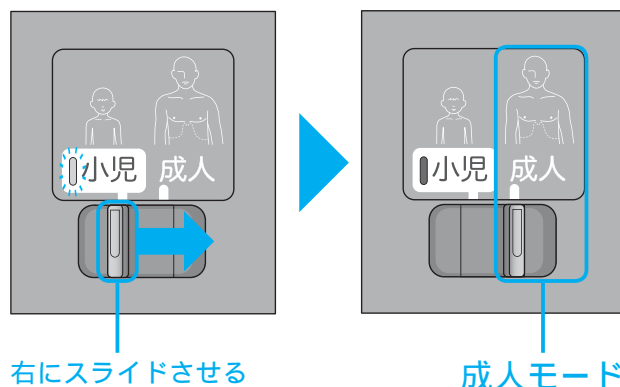
2 傷病者の年齢に合わせてモードを切り換える

成人または小学生以上の場合

傷病者が成人または小学生以上の場合、成人・小児モード切換スイッチを、成人モード(「成人」の側)に切り換えてください。



成人モードです。
意識・呼吸を確認してください。

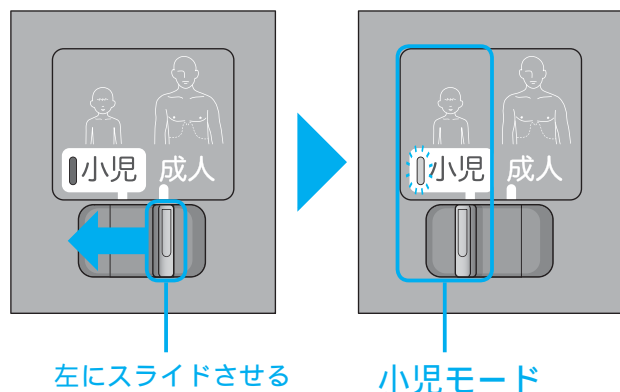


未就学児(およそ6歳までの小児)の場合

傷病者が未就学児(およそ6歳までの小児)の場合、成人・小児モード切換スイッチを、小児モード(「小児」の側)に切り換えてください。



小児モードです。
意識・呼吸を確認してください。



警告

- ❗ **未就学児の傷病者には、必ず小児モードで電気ショックを与える**
成人モードで電気ショックを与えると、電気ショックのエネルギーが大きいため、傷病者の心筋を痛めることがあります。
未就学児とは、およそ6歳までの小児を示します。
- 🚫 **小児モードを、指定外の傷病者(成人または小学生以上)に使用しない**
電気ショックのエネルギーが小さいため、電気ショックの効果を得られないことがあります。

3 服をはだけ、胸部を出す

傷病者の胸部の衣服をはだけて素肌を露出させます。

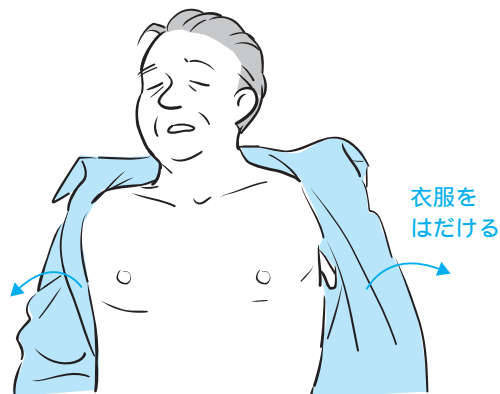
音声ガイダンス



胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください。



表示例は、成人モードの画面です。



衣服がはだけにくい場合は、レスキューキットに入っているハサミで衣服を切ってください。

胸部が濡れている場合は、レスキューキットに入っているタオルで水分を拭き取ってから電極パッドを貼り付けてください。

傷病者の胸毛が濃くて、電極パッドと皮膚の密着が悪くなる恐れがある場合は、レスキューキットに入っているカミソリで剃ってください。

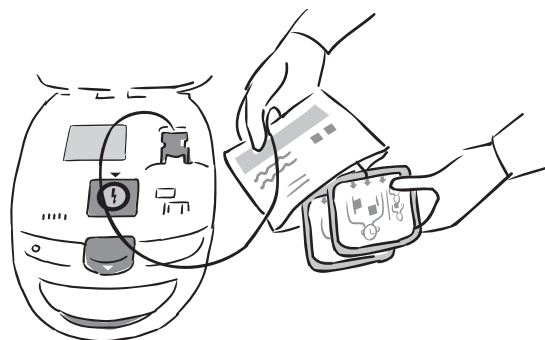
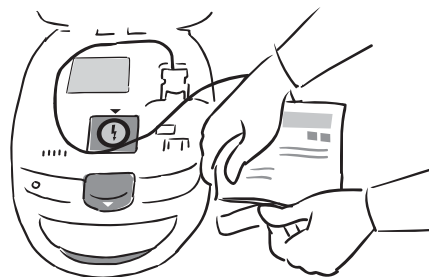
4 電極パッド袋を破いて、電極パッドを取り出す

電極パッドを袋から出します。

音声ガイダンス



袋を破いて、パッドを取り出してください。



5 電極パッドを貼る

電極パッドを、1枚ずつケーブル側から保護シートをゆっくりと丁寧にはがします。

電極パッドを、電極パッド表面に印刷された図のとおり胸部に貼り付けます。

成人または小学生以上の場合

音声ガイダンス



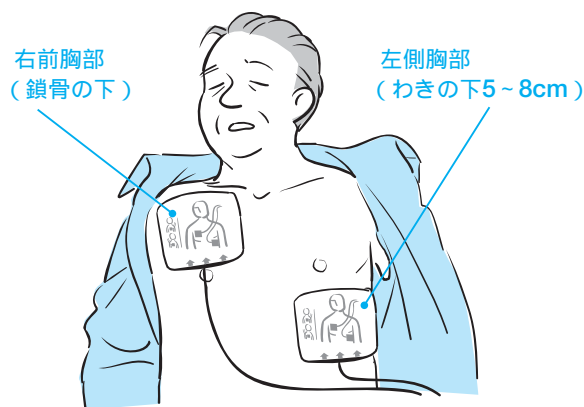
パッドを青いシートからはがして、図のように右胸と左わき腹に貼ってください。



電極パッドは、粘着面を皮膚に完全に密着させてください。一度貼り付けたら、貼り直さないでください。傷病者の胸部に正しく電極パッドが貼り付けられるまで、音声ガイダンスは繰り返されます。



電極パッドを貼る



右前胸部
(鎖骨の下)

左側胸部
(わきの下5~8cm)

未就学児(およそ6歳までの小児)の場合

音声ガイダンス

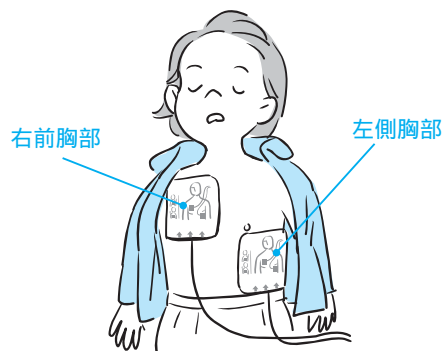


パッドを青いシートからはがして、図のように貼ってください。



胸部の大きい小児の場合

右前胸部と左側胸部に電極パッドを貼ります。

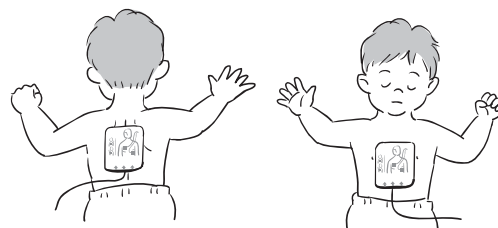


右前胸部

左側胸部

胸部の小さい小児の場合

胸部の前面と背面に電極パッドを貼ります。



警告

- ⊘ 医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼らない**
 AEDは、医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼ると、電気ショックの際に、火傷を負わせたり電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。
- ⊘ 植え込み型ペースメーカー、植え込み型除細動器の上に電極パッドを貼らない**
 ・ AEDは、植え込み型ペースメーカー、植え込み型除細動器が体内に埋め込まれている傷病者にも使用できます。皮膚の下に植え込み型医療器具がある場合は、皮膚の出っ張りから電極パッドを最低8cm以上離して貼り付けてください。電気ショックを行った場合は、医療機関にて植え込み型医療器具の点検を行ってください。
 ・ AEDを植え込み型除細動器が体内に埋め込まれている傷病者に使用する場合、植え込み型除細動器の治療サイクルが完了するまで30～60秒間待ってからAEDを使用してください。植え込み型除細動器とAEDが同時に機能すると、AEDが正常に動作しないことがあります。
- ! 電極パッドは重ならないように貼る**
 電気ショックの際に、電極パッドが触れ合っていると、傷病者の皮膚を火傷させたり電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。
- ! 電極パッドを貼るときは、傷病者の衣服を脱がせ、傷病者の皮膚に直接電極パッドを貼る。また、電極パッドと皮膚の間にすきまができないように、しっかり密着させる**
 電極パッドが正しく貼られていないと心電図を解析できません。また、電気ショック効果が得られず、装着部に火傷を負わせる恐れがあります。
- ⊘ 電極パッドは再使用しない**
 一度使用したり、開封した電極パッドは使用しないでください。傷病者の皮膚を火傷させたり、心臓に適切な量の電気エネルギーを与えられない可能性があります。

6 傷病者から離れて待つ

電極パッドを貼ると、AEDが傷病者の心電図を自動解析します。解析が終了するまで、離れて待ってください。

音声ガイダンス



体にさわらないでください。心電図を調べています。体にさわらないでください。



表示例は、成人モードの画面です。



自動解析の結果、電気ショックが必要な場合は、AEDは電気ショックの準備を開始します。

自動解析中に傷病者に触れて体が動くと、音声ガイダンスによる警告があります。解析中は、傷病者から離れてください。

電気ショックが必要な場合

音声ガイダンス



電気ショックが必要です。充電しています。



表示例は、成人モードの画面です。



7 の手順へ

電気ショックが不要な場合

音声ガイダンス



電気ショックは必要ありません。



8 の手順へ

7 ショックボタンを押して、電気ショックを与える

傷病者に誰も触れていないことを確認して、ショックボタンを押してください。

音声ガイダンス



体から離れてください。点滅ボタンをしっかりと押してください。



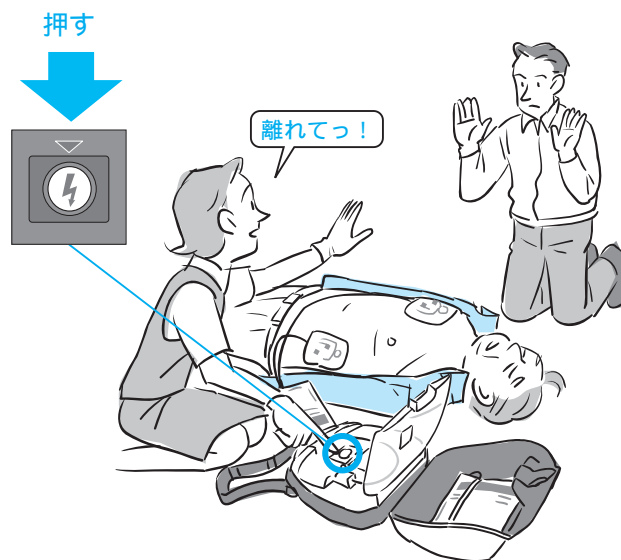
表示例は、成人モードの画面です。

AEDのショックボタンが赤色に点滅します。ショックボタンが点滅してから30秒以内にショックボタンを押さないと、電気ショックはキャンセルされます。その場合は、AEDの音声ガイダンスに従ってください。

音声ガイダンス



電気ショックを行いました。



ショックボタンを押して電気ショックを与えると、傷病者の体が一瞬だけいれんするように動く場合があります。

警告



電気ショックの際に、傷病者や傷病者に接した電気伝導物資に触れない

電気ショックの際に、傷病者以外の方が、傷病者、ベッド、傷病者の接している電気伝導物資に触れると電気エネルギーが放電され、電撃(体内に電気が流れたときに受ける衝撃)を受けることがあります。

8 2分間 しんばいそせい 心肺蘇生(胸骨圧迫/人工呼吸)をする

胸骨圧迫30回 人工呼吸2回を、2分間繰り返してください。

胸骨圧迫の方法 → P.15

人工呼吸の方法 → P.18

AEDから流れるリズム音“ポンポンポン”に合わせて、胸骨圧迫を行ってください。

音声ガイダンス



体にさわっても大丈夫です。ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。



表示例は、成人モードの画面です。

30秒ごとに

音声ガイダンス



胸骨圧迫と人工呼吸を続けてください。



表示例は、成人モードの画面です。

2分後に

音声ガイダンス

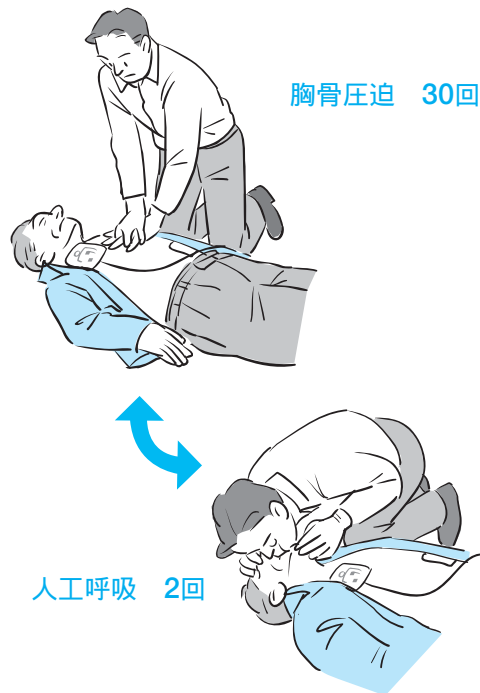


残り5回です。体から離れてください。



表示例は、成人モードの画面です。

成人の場合



小児の場合



AEDの音声ガイダンスに従って、⑥～⑧の手順を繰り返してください。

傷病者が嫌がるしぐさをしたり、正常な呼吸をし始めたなら心肺蘇生を中止してください。

AEDは傷病者の心臓のリズムが正常に戻っても、再度心室細動が起こる場合に備えて定期的に自動解析を行います。救急隊員に引き継ぐまでに、AEDの音声ガイダンスがあった場合は、指示に従ってください。

救急隊員が到着するまでは、音声ガイダンスに従って、胸骨圧迫、人工呼吸および心電図の解析を続けます。傷病者の意識が戻り動けるようになって、容態が変化する可能性があるため、電極パッドは傷病者からはがさず、AEDの電源もオンのままにしてください。

電極パッドが傷病者に貼られている間は、フタを閉じて電源スイッチをオフにしても、AEDの電源は切れず、音声によるガイダンスを続けます。

9

電極パッドをはがさず、 救急隊員へ

救急車が到着したら、電極パッドをはがさず、電源は入れたままで、救急隊員に引き継ぎます。

救急隊員による搬送の際

長時間の搬送などのため、電極パッドを傷病者に貼ったままAEDの電源を切りたい場合は、電極パッドを傷病者に貼ったまま、AEDのフタを閉じた状態で、電源スイッチをオフ オン オフの順で2回スライドさせると、AEDの電源をオフにすることができます。再びAEDの電源スイッチをオンにすると、「心電図を調べています。体にさわらないでください」の音声ガイダンスが聞こえ、心電図を調べ始めます。

